**様式　8-3**

**「有機食品等**　小分け業者/**Handler (Repacking)　認証審査申請書」**

**日本オーガニック＆ナチュラルフーズ協会理事長殿**

下記について、認証の検査・調査を申請します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | **申請書記入日** | | |  | | | |
| **●認証事業者に関する届出** | | | **申請書記入者** | | |  | | | |
| **認証を受ける者の名称** | |  | | | | | |  | |
| **所在地** | | 〒 | | | | | | | |
| **代表者名** | |  | | **正会員/準会員の別** | | | | | |
| 正会員 | | | | | |
| 準会員　→ | 正会員名 | |  | | |
| **申請窓口担当者氏名** | |  | | **窓口担当者電話** | |  | | | |
| **窓口担当者FAX** | |  | | **窓口担当者e-mail** | |  | | | |
| **認証プログラムの別と農林物資（該当する箇所に✓を入れてください）** | | | | | | | | | |
| JAS | 有機農産物　　有機飼料（→　有機農産物飼料　／有機加工飼料　）  有機加工食品　　　有機畜産物 | | | | | | | | |
| IFOAM | 有機農産物　　有機飼料（→　有機農産物飼料　／有機加工飼料　）  有機加工食品 | | | | | | | | |
| JONA独自 | 有機農産物　　有機飼料（→　有機農産物飼料　／有機加工飼料　）  有機加工食品 | | | | | | | | |
| EU | 有機農産物　　有機飼料（→　有機農産物飼料　／有機加工飼料　）  有機加工食品　　　有機水産物 | | | | | | | | |
| COR | 有機農産物　　有機飼料（→　有機農産物飼料　／有機加工飼料　）  有機加工食品　　（カナダ向け。要件を満たせば、米国での有機表示可。）☞米国とカナダの同等性に基づき米国向け輸出を希望する事業者はチェックしてください。 | | | | | | | | |
| スイス | 有機農産物　　有機飼料（→　有機農産物飼料　／有機加工飼料　）  有機加工食品 | | | | | | | | |
| 英国 | 有機農産物　　有機飼料（→　有機農産物飼料　／有機加工飼料　）  有機加工食品 | | | | | | | | |
| **新規／年次調査／変更追加のみの申請** | | | | | | | | | |
| 新規申請　　➡　 有機食品認証契約書の提出確認（提出済みの場合チェック） | | | | | | | | | |
| 年次（継続）調査  ➡申請内容に変更追加がないか再確認して下記の該当する方にチェックを入れてください。検査時に追加変更の申請は受付できません。事前申請が必要です。  今回の申請で変更・追加がない。  今回の申請で変更・追加がある。変更追加内容を下記、変更追加の欄に記入して下さい。  ※認証変更追加事項の例：施設や倉庫、機械・器具、担当者、規程、品目、防虫防鼠のための資材(その資材の説明資料含む)、表示など。  ➡　リモート調査を希望する。  　　　　　※追加圃場、追加施設等は対象外です。  　　　　　※JONAによる事業者リスク評価の結果リスクが低いと判断された場合限ります。また3年又は3回連続のリモート調査は不可とします。  　　　　　※詳細はJONAHP（<https://www.jona-japan.org/remote_oshirase/> ）を確認するか、事務局にお問合せ下さい。 | | | | | | | | | |
| 変更・追加のみ申請　※変更追加の内容を下欄に記載。    ➡　リモート調査を希望する。  　　　　　※追加圃場、追加施設等は対象外です。  　　　　　※JONAによる事業者リスク評価の結果リスクが低いと判断された場合限ります。また3年又は3回連続のリモート調査は不可とします。  　　　　　※詳細はJONAHP（<https://www.jona-japan.org/remote_oshirase/> ）を確認するか、事務局にお問合せ下さい。 | | | | | | | | | |
| **変更・追加の内容**  ※具体的な内容および既に確認済みの行程と同じ行程であれば確認済み行程の内容も記入して下さい。  ※変更追加にともなう変更文書（申告書、規程やマニュアル、図面など）を一緒に提出して下さい。修正箇所を文字の色を変える等、**特定**しやすいようにして頂くと審査をスムーズに進めることができますので、ご協力ください。 | | | | | | | | | **作業開始**  **予定時期** |
| ① | | | | | | | | |  |
| ② | | | | | | | | |  |
| ③ | | | | | | | | |  |
|  | | | | | | | | |  |

|  |
| --- |
| **●事務局使用欄** |
| **受付** | 受付日／担当者  申請料金確認状況 |
| **受理** | 受理日／担当者 |

有機農産物、有機加工食品、有機飼料及び有機畜産物

小分け業者/Handler (Repacking)　申告書

この申告書の該当する項目に漏れなく記入してください。記入欄が足りない場合は、行を増やしてご対応ください。貴社に該当しない項目は削除せず、そのままにしておいてください。

**1．申請品目**

**(1-1) 有機JAS格付表示対象品目・商品リスト**(有機JAS格付する全ての商品を下記一覧に記入)

\*この項目は、有機JAS認証申請者のみ記入してください。下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙で提出して下さい。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請品目  \*一括表示に記載している一般的な名称・品名 | 商品名 | 種類の別　＊注  （有機農産物／有機畜産物／有機農産物加工食品／有機畜産物加工食品／有機農畜産物加工食品／有機加工飼料） | 自社製品／受託品の別 | JAS同等性出荷先  （無しの場合空欄） | 米国、カナダ、EUの場合外国格付表示の有無 |
|  |  | アイテムを選択してください。 | 自社  受託 | 米国  EU  その他  （     ） | 外国格付表示有  外国格付表示無し |
|  |  | アイテムを選択してください。 | 自社  受託 | 米国  EU  その他  （     ） | 外国格付表示有  外国格付表示無し |
|  |  | アイテムを選択してください。 | 自社  受託 | 米国  EU  その他  （     ） | 外国格付表示有  外国格付表示無し |
|  |  | アイテムを選択してください。 | 自社  受託 | 米国  EU  その他  （     ） | 外国格付表示有  外国格付表示無し |
|  |  | アイテムを選択してください。 | 自社  受託 | 米国  EU  その他  （     ） | 外国格付表示有  外国格付表示無し |

＊有機農産物加工食品…原材料(食塩,水及び加工助剤を除く。)の重量に占める農産物(有機農産物を除く。)、畜産物、水産物及びこれ

らの加工品の重量の割合が5%以下であるもの。

＊有機畜産物加工食品…原材料(食塩,水及び加工助剤を除く。)の重量に占める農産物、畜産物(有機畜産物を除く。)、水産物及びこれ

らの加工品の重量の割合が5%以下であるもの。

＊有機農畜産物加工食品…原材料(食塩,水及び加工助剤を除く。)の重量に占める農産物(有機農産物を除く。)、畜産物(有機畜産物を除く。)、水産物及びこれらの加工品の重量の割合が5%以下であるもの。

＊有機農産物飼料………有機飼料のうち、調製又は選別の工程のみを経たもの。未加工の飼料作物、サイレージ等が該当する。

＊有機加工飼料………有機飼料のうち、調製又は選別の工程以外の工程を経たもの。飼料作物を加工したもの、配合飼料等が該当

する。

※外国格付表示とは、米国・カナダ・EUの有機認証ロゴマークを指します。

※外国格付表示を行う場合、外国格付表示業者の認証が必要です。様式　8-6 (他の有機JAS認証と同時に申請する者用)外国格付表示業者の申請書にて申請して下さい。（ロゴマークを使用しない場合は、外国格付表示業者の認証が必要ありません）

※2022年10月施行される有機加工食品の日本農林規格に含まれる有機JASの酒類については、同等性の対象外です。

**(1-2) JONA認証対象品目**(JONA認証マークを貼付するすべての商品を下記一覧に記入)

\*この項目は、JONA認証申請者のみ記入してください。下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙で提出して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請品目  \*一括表示に記載している一般的な名称・品名 | 商品名 | 種類の別  （有機加工食品／有機加工飼料） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

＊JONA　IFOAM認証…IFOAM認証レベル原料を使用した場合に限る。

＊JONA　独自認証……JONA独自認証レベル原料、または有機JAS原料を使用し有機JAS認証範囲以外の加工品(例：有機水産物等)

**(1-3) COR/EU/スイス/英国認証対象品目**(有機認証表示をするすべての商品を下記一覧に記入)

\*この項目は、COR/EU認証申請者のみ記入してください。下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙で提出して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請品目  \*一括表示に記載している  品名・名称 | 商品名 | 種類の別　＊注  (有機／  有機原材料使用[EU除く]) | 認証プログラムの別  (COR/EU/スイス/英国) |
|  |  | 有機  有機原材料使用  有機加工飼料 | COR　　EU  スイス 英国 |
|  |  | 有機  有機原材料使用  有機加工飼料 | COR　　EU  スイス 英国 |
|  |  | 有機  有機原材料使用  有機加工飼料 | COR　　EU  スイス 英国 |
|  |  | 有機  有機原材料使用  有機加工飼料 | COR　　EU  スイス 英国 |
|  |  | 有機  有機原材料使用  有機加工飼料 | COR　　EU  スイス 英国 |
|  |  | 有機  有機原材料使用  有機加工飼料 | COR　　EU  スイス 英国 |
|  |  | 有機  有機原材料使用  有機加工飼料 | COR　　EU  スイス 英国 |
|  |  | 有機  有機原材料使用  有機加工飼料 | COR　　EU  スイス 英国 |
|  |  | 有機  有機原材料使用  有機加工飼料 | COR　　EU  スイス 英国 |
|  |  | 有機  有機原材料使用  有機加工飼料 | COR　　EU  スイス 英国 |

＊有機…………………………加工食品が、水、塩を除き、有機原材料が、全体の95％以上を占め、製造・加工されたもの。

＊有機原材料使用【CORのみ】…加工食品が、水、塩を除き、有機原材料が全体の70％以上、95％以下を占め、製造・加工されたもの。

＊有機加工飼料………………有機飼料のうち、調製又は選別の工程以外の工程を経たもの。飼料作物を加工したもの、配合飼料等。

**(1-4) 申請対象外品目**(同一施設内で有機以外に製造している品目を全て記入)

　（例：有機申請品目が有機きな粉の場合、一般きな粉、一般すりごまなど、同一施設で取り扱う非有機品を記入して下さい）

|  |
| --- |
|  |

**2．年間小分け計画**

**小分け品目ごとの年間小分け量を、以下の表に記載して下さい。単位はKgまたはLで記入してください。**

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙にて提出して下さい。

※有機JAS認証とJONA/COR/EU/スイス/英国認証を同時に申請する場合は、総計で記載してください。

※**(1-1)～(1-3)に記載したものは全て記入して下さい。生産予定無しの場合は予定無しと記入して下さい。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目 | 有機 | | 有機転換期間中 | | 有機(転換期間中含む)  と同一品目の食品 | |
| 昨年実績 | 本年計画 | 昨年実績 | 本年計画 | 昨年実績 | 本年計画 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

**3．認証対象品目の物流・行程フローチャートに関する届出**

* 有機申請品目ごとに、使用施設や小分け行程が確認できるフローチャートを作成して下さい。同一行程の有機申請品目であればそれがわかるように一つにまとめても構いません。

➡（ポイント）使用する機械を明確にするだけでなく、どこの施設での作業なのか分かるようにしてください。

➡（ポイント）使用する機械を小分け工程表で、どこの施設での作業なのは、物流フローチャートで示しても構いません。

* 別紙にて作成のうえ、提出いただいても構いません。

|  |
| --- |
|  |

**●物流・商流フローチャート**

* この項目は、JAS格付して同等性で海外に輸出される商品、COR認証、EU認証、スイス認証、英国認証申請対象品について記入してください。
* 最終商品の販売まで一連の物流・商流のフローを作成してください。商品によって物流/商流が異なる場合は、それぞれ記載してください。
* 別紙にて作成の上、ご提出いただいても構いません。

|  |
| --- |
|  |

**4．小分け・格付表示に関する組織**

**(4-1)** **小分け施設の形態について、該当する方に✓を入れてください。**

①申請者が単独で主体的にすべての施設やすべての工程を管理している。　

②複数の組織及び施設が一体的な申請者となって管理している。　　　　　

→各組織が同等な立場でグループとして申請する。申請者が保管などの業務の一部を委託(外注)する場合もこちら。申請書表紙の認証を受ける者の名称にグループ名、所在地にグループの所在地を記載すること。グループの構成員が、5.申請施設(小分け業務全体に係る申請施設一覧)に該当しない場合は以下の表に、その構成員名(会社名等)と所在地、業務内容を記載すること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **構成員名(会社名等)** | **所在地** | **業務内容** |
|  |  |  |
|  |  |  |

**(4-2)　小分け工程の管理または把握に関する計画の立案及び推進**

内部規程を策定し、推進する際の責任者名を以下に記載して下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| 責任者名 |  |

内部規程の最終更新日

|  |  |
| --- | --- |
| 更新日 |  |

**(4-3)　工程に生じた異常等に関する処置又は指導**

原料の受入保管～小分け工程～出荷の工程に起こった異常事態の伝達方法、指示者、処置方法について、該当するものを選択し、それぞれ必要な事項を記載して下さい。

①処置方法、対策を文書化している。

|  |  |
| --- | --- |
| 文書のタイトル |  |

②処置方法、対策を文書化していない。

具体的な異常事態の処理・指導方法を以下に記載して下さい。

|  |
| --- |
|  |

**(4-4) 小分け・格付表示に関する管理担当者一覧**

担当者について以下の表に記載して下さい。

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙にて提出して下さい。

※1 申請者がグループ(一体的認証申請)である場合や小分け施設が複数ある場合は、所属する構成員名(会社名等)又は施設名を記載すること。構成員名が

氏名と同じである場合は、空欄で構いません。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | 担当区分　＊注  （小分け責任者/小分け担当者／格付表示担当者） | ※1構成員名  又は  施設名 | 所属部署名 | 食品の流通実務の  経験年数 | JONA又は  ＪＡＳ協会  の講習会受講日 |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 営業部門  その他  （     　　） | 年 |  |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 営業部門  その他  （     　　） | 年 |  |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 営業部門  その他  （     　　） | 年 |  |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 営業部門  その他  （     　　） | 年 |  |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 営業部門  その他  （     　　） | 年 |  |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 営業部門  その他  （     　　） | 年 |  |

＊小分け責任者―認証の技術的基準で定める経験年数を有し、講習会を受講した方1名。

＊小分け担当者―認証の技術的基準で定める経験年数を有した方。選任しなくても、複数名でも可。

＊格付表示担当者―営業部門から実質的に独立した権限を有し、講習会を受講した方、複数名可。

**5．申請施設**

**小分け業務全体に係る申請施設一覧**

小分け原料受入～小分け～包装～出荷までの工程を行う申請施設について以下の表に記載して下さい。

※申請施設には、原材料受入保管施設、小分け施設、包装施設、出荷までの一時保管施設、格付表示を行う施設等が含まれます。

※施設の名称には、社名・工場名を記載してください。

※作業内容には、原料受入保管、小分け工程、包装、製品保管、格付表示等、具体的に記載してください。

※一部委託/外注施設には、自社工場入庫前の原料保管、小分け済み製品の保管等を委託している施設が含まれます。

※有機JAS認証とJONA/COR/EU/スイス/英国認証を同時に申請し、申請施設が異なる場合、別に表を作成してください。

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設の名称 | 作業内容 | 所在地 | 自社/委託の別 |
| ① |  |  | 自社　委託 |
| ② |  |  | 自社　委託 |
| ③ |  |  | 自社　委託 |
| ④ |  |  | 自社　委託 |
| ⑤ |  |  | 自社　委託 |

**➡ 委託先がある場合、委託先を管理するための規程・マニュアル・記録・契約書・覚書・施設図面を提出して下さい。**

**6．施設の衛生管理**

**(6-1) 申請施設（上記5の施設）の防虫防鼠の施工者について、下記表を作成して下さい。**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設（委託施設含む）の名称 | 防虫防鼠の施工者（複数選択可） |
| ① | 施設管理者防除の専門業者と契約（契約先：     　　　　　　　） |
| ② | 施設管理者防除の専門業者と契約（契約先：     　　　　　　　） |
| ③ | 施設管理者防除の専門業者と契約（契約先：     　　　　　　　） |
| ④ | 施設管理者防除の専門業者と契約（契約先：     　　　　　　　） |
| ⑤ | 施設管理者防除の専門業者と契約（契約先：     　　　　　　　） |

**(6-2) 申請施設（上記5の施設）における薬剤を用いない防虫防鼠の取組みについて、下記表を作成して下さい。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施施設名  （又は6-1の施設番号） | 方法 | 機材や製品名 |
|  | 日常の清掃・光・熱・音・電撃の利用・陽圧化 |  |
|  | 物理的トラップ（粘着シート等） | ※誘引剤を使用する場合は誘引剤の内容がわかる資料を提出して下さい。誘引剤の使用がない場合は下に誘引剤無しと記入して下さい。 |
|  | 殺虫剤成分を含まない界面活性剤など | ※殺虫剤成分を含む製品は**(6-3)** 「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請して下さい。 |
|  | その他（　     ） |  |

※粘着トラップ等に使用する誘引剤は、食品または食品添加物グレードのもので殺虫・殺鼠成分が含まれないものが使用可能です。殺虫・殺鼠成分を含むものは下の(6-3) 「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請して下さい。

※ハーブ由来等の忌避剤は下の(6-3) 「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請して下さい。

※モニタリング等で使用するフォロモントラップや一緒に使用する誘引成分は下の(6-3) 「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請して下さい。

**(6-3) 防虫防鼠薬剤一覧**

**申請施設（上記5の施設）において防虫防鼠のために薬剤を使用する場合、薬剤のリストを作成して下さい。**

　①申請施設（上記5の施設）で使用する可能性のある防除薬剤はない。　　

　②申請施設（上記5の施設）で使用する可能性のある防除薬剤がある。　　

　➡別紙「有害動植物防除用薬剤 申請書」を作成し、提出して下さい。

**(6-4) 申請施設（上記5の施設）における洗剤・殺菌剤（以下、洗剤等）に関する情報について、該当するものを選択してください。その他を選択した場合は内容を記載して下さい。複数チェック可。**

＊施設の衛生管理に使用する各種洗剤や殺菌剤（次亜塩素酸系製剤、アルコール製剤など）が該当します。使用状況により、その資材の説明資料の提出や使用方法に関する追加報告を求める場合があります。

**●個別の機械器具については（７－４）で申告して頂きます。この項は施設全体の衛生管理についてです。**

**【洗剤等の使用用途について】**

床面の洗浄殺菌のための洗剤等を使用している。

手指の洗浄殺菌のための洗剤等を使用している。→（COR認証のみ）直接有機食品に触れる手指に使用する場合、「有害動植物防除用薬剤　申請書」を提出して下さい。

その他

**【洗剤等の管理について】**

使用する洗剤等のリストを作成している。

使用する洗剤等の管理責任者を配置し、把握している。

洗剤等使用時の手順書を策定している。

その他

**（6-5）施設の衛生管理のために、オゾン殺菌を行っていますか？**

①オゾン殺菌を行っていない。

②オゾン殺菌を行っている。

|  |  |
| --- | --- |
| 目的 |  |
| 使用施設・場所 |  |
| 食品への汚染対策方法又は対策が定められた文書名 |  |

　　　　※文書名を記入した場合は、当該文書を提出して下さい。

**7．小分け原料と小分け行程**

**(7-1)　小分け原料**

格付表示対象品目について、以下の表に記載して下さい。

※小分け原料は、その原料に有機JASマークを貼付している事業者の有機認証書を添付すること。

※「小分け目的」欄には、精米、最終小売り製品用の包装、製造業者用へ原料供給するための形態変更包装等と具体的に記載すること。

※「小分け原料の入庫形態」、「小分け製品の包装形態」欄には、紙袋・アルミパック・フレコンバック・バルク等と具体的に記載すること。

※COR認証を申請する場合、有機原料の有機JASマークの貼付場所」の欄に、原料がCORレベルであることを確認できる表示（例：カナダ有機ロゴ、伝票に記載されたCORの文言等）も明記すること。

※IFOAM/EU/スイス/英国認証の場合、有機原料はIFOAM/EU/スイス/英国認証を受けていること。

※下表に書ききれない場合は行を増やすか、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目  （品名） | 小分け目的  (精米、最終小売り製品用の包装、製造業者用へ原料供給するための形態変更包装等) | 小分け原料の  入庫形態  （紙袋・箱、アルミパック、フレコン、バルク等具体的に記載） | 有機原料を格付(生産)している事業者名と  その認証機関名 | 小分け原料の  有機JASマーク  貼付場所  （現物/伝票） | 入荷頻度  (1週間/  1ヶ月当り) | 小分け製品の  出荷形態  （業務用半製品/  最終小売り製品） |
|  |  |  |  |  |  | 業務用半製品  最終小売製品 |
|  |  |  |  |  |  | 業務用半製品  最終小売製品 |
|  |  |  |  |  |  | 業務用半製品  最終小売製品 |
|  |  |  |  |  |  | 業務用半製品  最終小売製品 |
|  |  |  |  |  |  | 業務用半製品  最終小売製品 |
|  |  |  |  |  |  | 業務用半製品  最終小売製品 |
|  |  |  |  |  |  | 業務用半製品  最終小売製品 |

**(7-2) 調製用等資材一覧**

**農産物の品質の保持改善の目的で、別表5の調製用等資材を使用する場合、調製用等資材のリストを作成して下さい。**

　①農産物の品質の保持改善の目的で調整用等資材は使用しない。　　　　　

　②農産物の品質の保持改善の目的で別表５の調整用等資材を使用する。　　

　　　　　➡別紙「調整用等資材　申請書」を作成し、提出して下さい。

**(7-3) 水について、該当するものを選択してください**

①製品に水を使用する　（水道水、　井戸水、　その他

②製品に水を使用しない

＊製品に水を使用する場合は、最新の水質検査結果を添付すること。

**(7-4)**

**小分けで使用する機械・器具一覧および清掃方法**

**小分け作業で使用するものを含むの一覧表を作成して下さい。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機械・器具の名称 | 有機専用／慣行との  共用の別 | 使用目的 | 洗浄・清掃方法  （複数選択可） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　（手作業）  CIP洗浄殺菌等（自動）  エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　（手作業）  CIP洗浄殺菌等（自動）  エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　（手作業）  CIP洗浄殺菌等（自動）  エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　（手作業）  CIP洗浄殺菌等（自動）  エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　（手作業）  CIP洗浄殺菌等（自動）  エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　（手作業）  CIP洗浄殺菌等（自動）  エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |

※上記項目を満たしていれば、自社書式の一覧でも構いません。

　※機械器具名に使用施設名を記入して下さい。

　※共洗い（押出し）の場合、押し出し量を決定した根拠を示して下さい。

　 ※有機品が直接触れるライン等の掃除や消毒にエタノール製剤を使用する場合、揮発又はふき取り後に有機品の取り扱いが可能です。使用するエタノール製剤は食品（添加物）グレードのものが使用可能です。別紙「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請をしてください。

　　※洗剤は使用可能です（ただし残留しないよう水で洗い流す必要があります）。洗剤の資料は提出する必要はありません。

**8．環境への配慮**

**(8-1) 小分け残さ（不適合品も含む）が発生した場合の処理方法を、以下に述べて下さい。**

|  |
| --- |
|  |

**(8-2) 小分け工程中で排水が発生する場合、その処理方法を以下に述べて下さい。**

|  |
| --- |
|  |

**(8-3) その他、環境配慮として行っていることがあれば以下に述べて下さい。**

|  |
| --- |
|  |

**9．小分け工程に関する管理記録の保持**

**原料の受入保管～小分け工程～出荷の工程に関する記録及び当該記録の根拠となる書類名称および管理方法について、以下の表に記載して下さい。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 記録名称 | 保持者／作成者 | 記録保持期間 |
| 1 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |
| 3 |  |  |  |
| 4 |  |  |  |
| 5 |  |  |  |
| 6 |  |  |  |
| 7 |  |  |  |
| 8 |  |  |  |
| 9 |  |  |  |
| 10 |  |  |  |
| 11 |  |  |  |
| 12 |  |  |  |
| 13 |  |  |  |
| 14 |  |  |  |
| 15 |  |  |  |

**10．格付表示の実施**

**(10－1)　格付表示規程の最終更新日**

|  |  |
| --- | --- |
| 更新日 |  |

**(10-2) 格付表示の実施場所、頻度、担当者数について、以下の表に記載して下さい。**

※この項目は、有機JAS認証申請者のみ記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 格付表示を行う施設名称 | 格付表示の頻度  (1週間／1ヶ月当り) | 格付表示担当者人数 | 格付表示担当者の  勤務形態 |
|  |  | 人 |  |
|  |  | 人 |  |
|  |  | 人 |  |
|  |  | 人 |  |
|  |  | 人 |  |

※「格付表示を行う施設名称」欄には、格付表示を実施する工場等の名称を記入すること。

※「格付表示の頻度」の欄には、1週間または1ヶ月あたりの格付表示頻度を、ほぼ毎日、週間に3～4回程度、1週間に1～2回、1ヶ月に数回程度等と記入すること。

※「格付表示担当者の勤務形態」欄には、格付表示担当者の一週間当りの勤務日数および社員／契約の別を記入すること。

**(10-3) 有機JASマークの貼付場所について、該当するものを選択してください。**

※この項目は、有機JAS認証申請者のみ記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 本申告書(1-1)の品目又は商品名  （一枠にまとめて記載OK） | 有機JAS格付表示（有機JASマーク貼付）はどこに表示しますか？  （複数選択可） | 外国格付表示をする場合どこに表示しますか？  （複数選択可） |
|  | 個別商品（製品容器・ネット・小袋など）  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） | 個別商品  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） |
|  | 個別商品（製品容器・ネット・小袋など）  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） | 個別商品  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） |
|  | 個別商品（製品容器・ネット・小袋など）  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） | 個別商品  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） |

※外国格付表示を行う場合、外国格付表示業者の認証が必要です。様式　8-6 (他の有機JAS認証と同時に申請する者用)外国格付表示業者の申請書にて申請して下さい。また、有機JAS格付表示（有機JASマーク貼付）が必須となります。

**(10-4) JONA認証マーク、カナダロゴ、EU有機ロゴの貼付場所について、該当するものを選択してください。**

※この項目は、JONA認証、カナダ、EU認証申請者のみ記入してください。

①容器・包材（紙袋、ポリ袋、段ボール等の袋や箱のこと）のみに貼付

②容器・包材と送り状に貼付

③送り状のみに貼付

④その他（

**11．包装容器等の資材**

**申請対象品目に使用する包装容器等の資材について、該当するものを選択してください。**

①ポリフィルム

②紙

③瓶

④プラスチックケース

⑤その他　　素材名：

**12．有機食品の輸出に必要な証明書**

**(12-1) 同等性を利用した有機JAS認証品の輸出**

※この項目は、輸出する（予定のある）有機JAS認証申請者のみ記入してください。

**輸出者が自社・他社にかかわらず、同等性を利用して、米国、EU、スイス、カナダ、台湾、英国に有機JAS食品を輸出する場合に添付が必要な証明書の申請手順について、以下に記載してください。**

|  |
| --- |
|  |

**(12-2) EU/スイス/英国認証品の輸出**

※この項目は、輸出する（予定のある）EU/スイス/英国認証申請者のみ記入してください。

**輸出者が自社で、EU、スイス、英国にそれぞれの国・地域にEU/スイス/英国認証品を輸出する場合に添付が必要な証明書の申請手順について、以下に記載してください。**

|  |
| --- |
|  |

※EU/スイス/英国認証では、輸出業者・輸入業者も有機認証されている必要があります。他社が輸出する場合、その輸出会社が認証を受けている認証機関に輸出に必要な証明書を申請します。

●通信事項

**■新規申請者は別紙様式10-3　宣誓事項及び必須添付書類リストも提出して下さい。**

**有機食品の製造に取り組んだきっかけ・理由をご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

**過去3年間に他の認証機関に有機認証の申請をした場合、認証機関名、申請時期、審査の結果をご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

**上記の審査結果が、不適合/否決の場合、認証機関から発行された不適合/否決についての通知文書を添付してください。更に、不適合事項への申請者の改善内容を説明し、その根拠書類を添付してください。**

|  |
| --- |
|  |

　（以下は、EU/スイス/英国認証申請者のみ記入してください。）

1. **JONA以外に他の認証機関等の組織から認証を受けている場合、JONAが該当する組織と認証に関する情報を交換することを承認しますか？**

イ．はい

ロ．いいえ（不明点：

1. **認証機関を変更する場合に、移行先の認証機関にJONAが認証に関する情報を提供することを承認しますか？**

イ．はい

ロ．いいえ（不明点：

1. **EU/スイス/英国認証を取り下げる場合、速やかにJONAに報告することに同意しますか？**

イ．はい

ロ．いいえ（不明点：

1. **EU/スイス/英国認証を取り下げる場合、EU認証に関する記録類を取り下げ後5年以上保管することに同意しますか？**

イ．はい

ロ．いいえ（不明点：

1. **自らの有機製品あるいは外部から受け入れた有機製品について有機性に関わる不正や違反があった場合、速やかにJONAに報告することに同意しますか？**

イ．はい

ロ．いいえ（不明点：

**日本オーガニック＆ナチュラルフーズ協会　理事長宛**

**以上の申告内容に虚偽はありません。**

|  |  |
| --- | --- |
| 小分け責任者　氏名: |  |
| 格付表示担当者　氏名: |  |
| 記入者　氏名: |  |